

交通安全かわら版

令和 7 年 10 月
茨城県警察本部交通総務課
No. 34

～ 令和 7 年 9 月末の交通死亡事故 ～

令和 7 年 9 月末の交通死亡事故の特徴【発生件数 52 件、死者 54 人】

- 本県の死者 **54人** 前年比 **-11人** 全国ワースト第**10位**
 - ◇ 人口10万人当たり 1.93人 (全国ワースト第**16位**)
 - ◇ 自動車1万台当たり 0.20人 (全国ワースト第**31位**)
 - ◇ 道路千キロメートル当たり 0.97人 (全国ワースト第**39位**)
- 全国の死者数 **1,778人**、前年比 **-98人** (増減率 **-5.2%**)

- ◆ 「高齢者」の死者数 **31人** (構成率 **57.4%**)、前年比**-3人** (全国ワースト第**10位**)
- ◆ 「飲酒運転」による死亡事故は**5件**、前年比**+1件**
- ◆ 「高齢者」が第1当事者となる死亡事故は**20件**、前年比**-6件**
- ◆ シートベルト非着用の死者数は**13人**、前年比**+2人**
- ◆ 県西地域で**19人** (構成率 **35.2%**)

【交通死亡事故の主な特徴】

(1) 市町村 ※高速道路を除く	◇ 多発市町村 8人～水戸市(-1) 4人～常総市(+2), 古河市(-1)
(2) 第1当事者の 年齢層 (件)	◇ 70歳以上 15件(-5) 60歳代(+1), 20歳代(-5) 各8件 ◇ 高齢者 20件(-6), 青少年 6件(-2)
(3) 第1当事者の 違反 (件)	◇ 一時不停止 10件(+8) 前方不注意 8件(-8), 運転操作不適 7件(-2)
飲酒運転 (件)	◇ 飲酒運転による交通死亡事故 5件(+1)
(4) 状態	◇ 四輪車 29人(±0) うち同乗 8人(+1), 歩行者 13人(-8) うち横断中 8人(-6) 自転車 4人(-2), 二輪車 8人(-1)
(5) シートベルト	◇ 四輪乗車中 29人 うち シートベルト非着用 13人(44.8%) , 着用 15人(51.7%), 着用不明 1人(3.4%) 非着用13人中、10人(76.9%)は着用していたら助かった可能性あり
(6) 時間・昼夜	◇ 時間帯別 4～6時(+4) , 10～12時(+1) , 14～16時(+2) 各7人 ◇ 昼間 33人(-2) 構成率 61.1%, 夜間 21人(-9) 構成率 38.9%
(7) 事故類型	◇ 人対車両 12人(-9), うち横断中 8人(-6) ◇ 車両相互 25人(±0), うち 出会い頭 17人(+11) ◇ 車両単独 17人(-1), うち工作物 13人(-1) ◇ 列車 0人(-1)
(8) 死者の年齢層	◇ 80歳以上 17人(-3) , 70歳代 12人(±0) ◇ 高齢者 31人(-3) 構成率 57.4%, 青少年 4人(±0) 構成率 7.4%
特記事項	◇ 令和7年9月中の死亡事故(発生件数5件, 死者数5人)の特徴 ・事故類型別では、車両単独が3件 ・昼夜別では、昼間が4件 ・死者の年齢別では、高齢者が3人

※注1 「青少年」とは16歳以上24歳以下、「高齢者」とは65歳以上をいう。

2 「飲酒運転」とは原付以上が第1当事者となった事故で、その運転者が飲酒していた場合をいう。

3 ()内は前年比

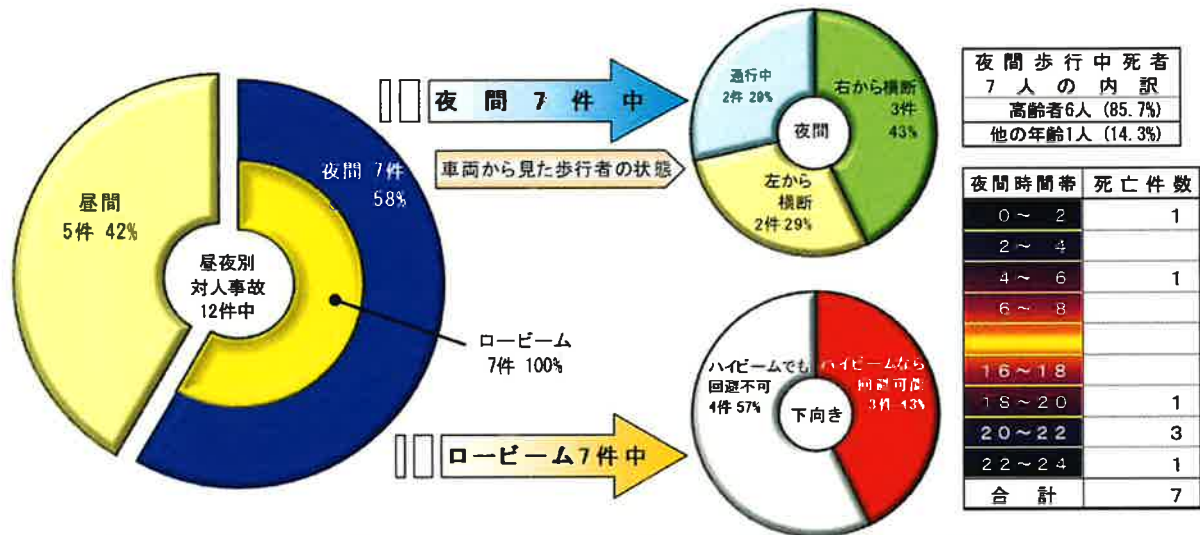
交通安全かわら版

令和 7 年 1 0 月
茨城県警察本部交通総務課
No. 35

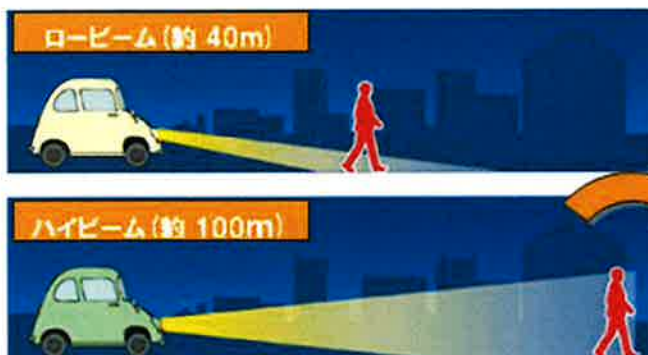
～ ライト切り替えによる交通事故防止 ～

10月は**午後4時30分**を目安に
ヘッドライトを点灯しましょう！

夜間、車両(原付以上)が歩行者と衝突する交通死亡事故(令和7年9月末・7件7人)



運転者はヘッドライトのこまめな切り替えを！



ロービームでは約40m先に立っている人の足下しか照らせません。

時速60キロで走行していた場合、人だと認識できたときにはブレーキを踏んでも間に合わない可能性が高くなります。

ハイビームを活用し、上向きにできないときは速度を控えましょう。

歩行者・自転車利用者は**反射材**の着用を！

明るく目立つ色の服装やLEDライト等をプラスすれば、さらに効果アップ！

歩行者

自転車

自分の存在をアピールすることで暗い時間帯の交通事故被害を防止しましょう！